

第 2 次甲賀市地域福祉計画

令和元年度取組結果報告

甲賀市 健康福祉部 福祉医療政策課

評価について

→第2次甲賀市総合計画 第1期基本・実施計画の事務事業評価に準じる

A, B, C, Dの4段階で評価

評価	
A	行動計画、成果指標のいずれもが「実績（実績値）>計画（目標値）」
B	行動計画、成果指標の一方が「実績（実績値）≥計画（目標値）」で、他方が「実績（実績値）<計画（目標値）」
C	行動計画、成果指標のいずれもが「実績（実績値）<計画（目標値）」であるが、その差が10%未満
D	行動計画、成果指標のいずれもが「実績（実績値）<計画（目標値）」であるが、その差が10%以上

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(1) 地域の支え合い、見守り活動の推進

① 介護者への支援の充実

介護家族支援短期入所事業

長寿福祉課

事業概要

介護認定を受けていないが、高齢者を1人にすることができない家族が、緊急時やむをえない理由により、居宅での介護ができない場合に、当該者を一時的に短期入所させ、高齢者及びその家族の福祉の向上を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
実績	なし	なし	なし
評価	B	B	B

短期入所事業（ショートステイ）

障がい福祉課

事業概要

居宅で介護する人が病気の場合等に、一時的に、夜間も含め施設や事業所で、食事・入浴・排せつ等の身体介護やその他必要な日常生活の支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
短期入所事業	約569人利用	約580人利用	約572人利用
24時間対応型利用支援制度支援事業	29人利用	26人利用	6人利用
評価	A	A	B

介護家族者支援事業

すこやか支援課

事業概要

介護者の会への支援をすることにより、介護者のつながりを深めると共に、介護への負担軽減を図る。
また、個別の中で家族支援が必要な場合は、地域包括支援センター職員により対応を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	包括支援センターにて 家族支援 介護者の会への支援	包括支援センターにて 家族支援 介護者の会への支援	包括支援センターにて 家族支援 介護者の会への支援
評価	B	B	B

徘徊高齢者見守り事業

長寿福祉課

事業概要

事前登録事業登録者のうち希望者に対し、行方不明時に早期発見ができるよう、発見者がQRコードシールを携帯電話等で読み取ること
とで家族等と連絡を取ることができるQRコードシールを配布する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
徘徊高齢者見守り事業	登録者 10名	登録者 23名	登録者 25名
評価	B	B	B

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(1) 地域の支え合い、見守り活動の推進

② 認知症対策等への支援

徘徊高齢者家族支援事業

長寿福祉課

事業概要

事前登録事業登録者のうち希望者に対し、行方不明時に早期発見ができるよう、発見者がQRコードシールを携帯電話等で読み取ることとで家族等と連絡を取ることができるQRコードシールを配布する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
徘徊高齢者家族支援サービス助成事業	67,800円	56,100円	33,000円
助成対象者	9人	9人	4人
評価	B	B	B

徘徊高齢者事前登録事業

長寿福祉課

事業概要

認知症等の原因により徘徊のおそれのある高齢者が行方不明となった場合に早期発見・早期保護できるよう、事前に登録した情報を一元化することにより、徘徊高齢者の安全と家族への支援を図る。
(登録料無料)

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
登録者	46人	69人	83人
評価	B	B	B

認知症キャラバンメイト養成講座

すこやか支援課

事業概要

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人を温かく見守る応援者である認知症サポーターの養成講座の開催を支援する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
講座開催数	45回	39回	39回
養成人数	1,381人	1,256人	940人
評価	A	A	A

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(1) 地域の支え合い、見守り活動の推進

③子育て世代に対する見守りの推進

こんにちは赤ちゃん事業

子育て政策課

事業概要

生後3ヶ月の乳児がいる家庭を訪問し、子育て支援の情報提供、養育環境を把握し、子育ての孤立化防止、不安感の軽減を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
訪問件数 (対象者)	606人 (665人)	611人 (657人)	531人 (608人) 3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問を休止し、子育て情報を郵送。
評価	A	A	B

新生児訪問事業

すこやか支援課

事業概要

生後2ヶ月頃までに新生児・乳児がいる家庭を訪問し、母子の状況を把握し、育児指導を行うと共に、子育ての孤立化防止、不安感の軽減を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	保健師等による新生児・乳児への訪問相談事業を実施	保健師等による新生児・乳児への訪問相談事業を実施	保健師等による新生児・乳児への訪問相談事業を実施
評価	B	A	A

母子保健事業

すこやか支援課

事業概要

妊産婦、新生児、乳児及び幼児期において、保護者も含め子育ての不安軽減を図り、支援プランを作成することにより、切れ目のない支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
プラン作成件数	92件	107件	50件
評価	C	B	A

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(1) 地域の支え合い、見守り活動の推進

④地域コミュニティ組織の自立化推進

中山間地域再生プロジェクト

政策推進課

(小さな拠点)

事業概要

地域、民間事業者、地域自主運営組織による公共施設等を活用した地域再生の可能性の研究、地域におけるコミュニティ・ビジネスの運営を促し、中山間地域の活性化を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	山内学区及び鮎河学区の幼保・小中学校再編検討協議会を設立。	旧鮎河保育園については、地域住民の健康づくりや生涯学習など、多世代交流の寄り合い機能を持つ、コミュニティセンターとしての整備を進める。	旧山内保育園については、地域住民の取り組みによる「お試し利用」を開始した。
評価	B	C	B

区・自治会の支援

政策推進課 (市民活動推進室)

事業概要 相互扶助の暮らしやすい地域づくりの推進のため、区・自治会と市が協力し合える関係をつくり、必要な支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
コミュニティ助成事業	2件 (巖峨区・三軒家区)	2件 (黒滝区・大原中区)	3件 (西内貴・池田区・新城区)
自治ハウス等整備事業	2件 (拝坂区・新治区)	1件 (水口第3区(東町))	0件
評価	B	B	B

自治振興会によるまちづくり

政策推進課
(市民活動推進室)

事業概要

市民と行政の協働の考え方をふまえ、住民福祉の推進につながる「小規模多機能自治」を推進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	市民参画・協働推進検討委員会 4回	市民参画・協働推進検討委員会 6回	「みんなで甲賀市の未来を考えよう！市民協働研修会」を開催。
評価	B	B	C

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(2) あらゆる世代、人が交流する機会や場づくり

①あらゆる世代、人の交流を促進

区・自治会の支援

政策推進課

(市民活動推進室)

再掲

事業概要

相互扶助の暮らしやすい地域づくりの推進のため、区・自治会と市が協力し合える関係をつくり、必要な支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
コミュニティ助成事業	2件 (巖峨区・三軒家区)	2件 (黒滝区・大原中区)	3件 (西内貴・池田区・新城区)
自治ハウス等整備事業	2件 (拝坂区・新治区)	1件 (水口第3区(東町))	0件
評価	B	B	B

自治振興会によるまちづくり

政策推進課

再掲

(市民活動推進室)

事業概要

地域、民間事業者、地域自主運営組織による公共施設等を活用した地域再生の可能性の研究、地域におけるコミュニティ・ビジネスの運営を促し、中山間地域の活性化を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	市民参画・協働推進検討委員会 4回	市民参画・協働推進検討委員会 6回	「みんなで甲賀市の未来を考えよう！市民協働研修会」を開催。
評価	B	B	C

高齢者向け教室

人権推進課

事業概要

創作、健康づくり、日常生活訓練等を行うことにより、高齢者の自立を促進し、仲間づくり、生きがいつくりにつなげる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
各地域総合センター	いきいき百歳体操や、高齢者向けの各種教室を実施し、仲間づくり、生きがいつくりにつなげた。	いきいき百歳体操や、高齢者向けの各種教室を実施し、仲間づくり、生きがいつくりにつなげた。	いきいき百歳体操や、高齢者向けの各種教室を実施し、仲間づくり、生きがいつくりにつなげた。
評価	B	B	B

障がいのある人とのふれあい・ 交流機会の促進

障がい福祉課

事業概要

障がいのある人の生活実態を市民に伝え、社会の一員としての理解を深め、交流の促進を図るために市民とのふれあいと交流の場をつくる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	ふれあいフェスタ2017やふうせんバレーボールに参加。	ふれあいフェスタ2018やふうせんバレーボールに参加。	つながるフェスタに参加。
評価	B	B	B

地域支援事業 母子保健事業

すこやか支援課

事業概要

乳幼児から高齢者までの全世代に対して、地域あるいは団体の中で、サロンや憩いの場など地域及び団体の課題に応じて、関係機関とともに支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
100歳体操実施団体	—	115ヶ所	116ヶ所
評価	B	B	B

健康寿命を延ばそう事業

すこやか支援課

事業概要

地域でともに支え合い生きがいをもって健康で幸せに暮らしていくために、健康づくりに取り組むことで健康寿命の延伸を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	モデル事業を実施 (全6地区) ウォーキングコースの 設置 健康体操等の啓発	モデル事業を実施 (全6地区) ウォーキングコースの 周知 健康体操等の啓発	モデル事業を実施 (全6地区) ウォーキングコースの 周知 健康体操等の啓発
評価	B	B	B

つどいの広場事業

子育て政策課

事業概要

地域に子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
利用者	576組	甲南青少年研修センターにおいて、3歳までの乳幼児とその保護者の交流の場の提供と交流の促進を実施	甲南青少年研修センターにおいて、3歳までの乳幼児とその保護者の交流の場の提供と交流の促進を実施
評価	A	A	B

公園施設整備事業

建設管理課

事業概要

公園施設において、管理運営上安全対策が足りないと判断した箇所が見つかった場合、利用者の安全を鑑み危険防止施設の設置を実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
不具合箇所	ネットフェンス、トイレ、園路等	遊具、トイレ等公園施設	遊具、トイレ等公園施設
評価	A	A	A

まなびの体験広場事業

社会教育スポーツ課

事業概要

学びの発表の場、子どもたちが新たな興味や関心をもつ学びの場の提供のために事業を展開。異世代間の交流の中から、人と人の輪をひろげていき、生涯学習の振興を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
開催概要	平成29年11月3日（金） 碧水ホール のべ2,322人参加	平成30年11月23日（金） 忍の里プララ のべ2,700人参加	令和元年10月26日（土） 忍の里プララ のべ1,020人参加
評価	B	B	B

放課後こども教室事業

社会教育スポーツ課

事業概要

子どもたちの放課後の安全・安心な活動拠点を設け、地域の方の参画を経て、学習やスポーツ、文化芸術活動などの交流活動の機会を提供する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
参加人数	131名	25名	「NPO地域で創る土曜日夢の学習」に委託する夢の学習事業の中での取り組みへ移行
評価	B	C	B

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(2) あらゆる世代、人が交流する機会や場づくり

②地域の課題解決の推進

人権尊重のまちづくり懇談会の推進

人権推進課

事業概要

人権尊重のまちづくり懇談会の推進。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
参加人数	5718人	約5900人 (人権カルタ実施)	6054人
評価	B	B	B

こうか市民共生ネットワーク

人権推進課

事業概要

こうか市民共生ネットワーク登録団体がつながって実施する事業や活動を支援する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
人権啓発事業助成金 申請数	9件	7件	7件 (新型コロナウイルス感染症感染拡大時期と重なった事業は中止となった。 3件が実施された。)
評価	A	A	B

地域市民センターの設置

政策推進課
(市民活動推進室)

事業概要

地域住民が集い、語り合う身近な憩いの場、自治振興会の活動の拠点として、地域市民センターを運営。また、公民館機能、行政窓口機能を実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	地域に密着した課題解決支援を推進	地域に密着した課題解決支援を推進	地域に密着した課題解決支援を推進
評価	B	B	B

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(3) 関係団体等の顔が見える関係づくり

①地域における連携・協働への支援

区・自治会の支援

政策推進課
(市民活動推進室)

再掲

事業概要

相互扶助の暮らしやすい地域づくりの推進のため、区・自治会と市が協力し合える関係をつくり、必要な支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
コミュニティ助成事業	2件 (巖峨区・三軒家区)	2件 (黒滝区・大原中区)	3件 (西内貴・池田区・新城区)
自治ハウス等整備事業	2件 (拝坂区・新治区)	1件 (水口第3区(東町))	0件
評価	B	B	B

自治振興会によるまちづくり

政策推進課

(市民活動推進室)

再掲

事業概要

市民と行政の協働の考え方をふまえ、住民福祉の推進につながる「小規模多機能自治」を推進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	市民参画・協働推進検討委員会 4回	市民参画・協働推進検討委員会 6回	「みんなで甲賀市の未来を考えよう！市民協働研修会」を開催。
評価	B	B	C

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(3) 関係団体等の顔が見える関係づくり

②地域による生活支援サービス提供の体制整備

多様な担い手による生活支援サービス

長寿福祉課

の充実

事業概要

各種団体と連携しながら、多様な担い手による多様なサービスを介護予防・生活支援サービス事業として推進する。地域でつどう場や生活支援サービスをNPO等で行う仕組みづくりを行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
担い手養成研修 (修了者数)	28人	30人	41人
評価	A	A	A

総合的な地域ケアの推進

障がい福祉課

事業概要

市、相談支援事業所、サービス事業所、関係機関等が連携し、継続性、一貫性のある地域ケアの展開に取り組む。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	継続性、一貫性のある地域ケアの展開に取り組んだ	継続性、一貫性のある地域ケアの展開に取り組んだ	継続性、一貫性のある地域ケアの展開に取り組んだ
評価	B	B	B

基本方針 1 地域で支えるしくみづくり [しくみ]

(3) 関係団体等の顔が見える関係づくり

③ 関係機関・団体等との交流事業の支援

多文化共生推進計画

政策推進課
(多文化共生係)

事業概要

「お互いの違いや良さを認め合い、ともに新しい市民文化を創造するまちづくり」の実現に向け事業を実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	日本語の学習支援 災害時の多言語支援体制 構築 啓発紙発行 等	国際交流フェスタ おしゃべりカフェ 等	海外の姉妹都市等との市 民交流事業や中学生交流 事業 等
評価	B	B	B

市民協働事業提案制度

政策推進課 (市民活動推進室)

事業概要

市民団体等の新しい発想や経験、専門性と行政のノウハウをともに出し合い、柔軟性のある事業を実施するため、地域課題の効果的な解決を目指す。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
実施事業数	4件 (うち1件は地域の空き家を多世代交流や地域コミュニティの拠点として活用。)	5件 (うち1件は地域の空き家を多世代交流や地域コミュニティの拠点として活用。)	課題解決事業3件実施 (紫香楽宮「都あかり」、東海道浪漫歩行、地域博物館プロジェクト)
評価	A	A	B

こうか市民共生ネットワーク

再掲

人権推進課

事業概要

こうか市民共生ネットワーク登録団体がつながって実施する事業や活動を支援する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
人権啓発事業助成金 申請数	9件	7件	7件 (新型コロナウイルス感染症感染拡大時期と重なった事業は中止となった。 3件が実施された。)
評価	A	B	B

障がいのある人とのふれあい・ 交流機会の促進

障がい福祉課

事業概要

障がいのある人の生活実態を市民に伝え、社会の一員としての理解を深め、交流の促進を図るために市民とのふれあいと交流の場をつくる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	甲賀地域障害児・者サービス調整会議を軸に、関係機関と連携し、一貫性のある地域ケアを実施。	甲賀地域障害児・者サービス調整会議を軸に、関係機関と連携し、一貫性のある地域ケアを実施。	甲賀地域障害児・者サービス調整会議を軸に、関係機関と連携し、一貫性のある地域ケアを実施。
評価	B	B	B

健康推進連絡協議会補助

すこやか支援課

事業概要

健康推進員の日々の活動及び活動資金として補助金を交付して活動を支援する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	健康推進員の活動資金として補助金を交付	健康推進員の活動資金として補助金を交付	健康推進員の活動資金として補助金を交付
評価	A	B	A

基本方針 2 地域福祉を支える人づくり

[ひと]

(1) ボランティアの育成・支援

① 市民活動及びボランティア活動の促進

市民活動ボランティアセンター の設置

政策推進課
(市民活動推進室)

事業概要

市民の自主的かつ主体的な公益活動への参加を促し、地域の福祉活動団体等を支援することにより協働のまちづくりを推進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	地域活動の担い手づくり (講座4種×5回の実施、ボランティア マッチング85件)	「まるーむ」整備	「まるーむ」開館 まちづくり支援員によるスキル アップ研修実施
評価	B	B	C

こうか市民共生ネットワーク

再掲

人権推進課

事業概要

こうか市民共生ネットワーク登録団体がつながって実施する事業や活動を支援する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
人権啓発事業助成金 申請数	9件	7件	7件 (新型コロナウイルス感染症感染拡大時期と重なった事業は中止となった。 3件が実施された。)
評価	A	B	B

基本方針 2 地域福祉を支える人づくり

[ひと]

(2) 福祉教育の充実

①福祉教育の推進

多様な学習機会の提供と 指導者の確保

学校教育課

事業概要

介護等の体験を通じた福祉の学習、職場体験などの機会を充実する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
事業所（福祉施設・老人福祉施設）数 （参加率）	のべ35箇所 （99パーセント）	のべ36箇所 （98パーセント）	39箇所 （100パーセント）
評価	B	A	A

まなびの体験広場事業

社会教育スポーツ課

再掲

事業概要

学びの発表の場、子どもたちが新たな興味や関心をもつ学びの場の提供のために事業を展開。異世代間の交流の中から、人と人の輪をひろげていき、生涯学習の振興を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
開催概要	平成29年11月3日（金） 碧水ホール のべ2,322人参加	平成30年11月23日（金） 忍の里プララ のべ2,700人参加	令和元年10月26日（土） 忍の里プララ のべ1,020人参加
評価	B	B	B

基本方針 2 地域福祉を支える人づくり

[ひと]

(2) 福祉教育の充実

②福祉への理解の促進

人権教育連続セミナー等

人権推進課

事業概要

人権教育セミナーなど障がいや福祉についての理解を深めることができるような学習機会を提供する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	8月19日「さとにきたらええやん」 講師：荘保共子さん 9月30日「健常者を考える」講師： 松永真純さん	10月21日「住みなれた地域で安心 して暮らし続けるために」 講師：花戸貴司さん 12月22日「魂の書家金澤翔子～天 使がこの世に降り立てば～」講師金 澤泰子さん、翔子さん	障がいや福祉についての 人権講座等を開催 (543人参加)
評価	A	A	A

出前講座(ご近所福祉)

福祉医療政策課

事業概要

区・自治会、自治振興会等を対象とし、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを旨とし、「みんなで参加のご近所福祉」をとともに考える出前講座を実施。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
開催数	0回	0回	2回 (市内5地域にご近所福祉 コーディネーターを配置)
評価	A	B	B

障がいのある人とのふれあい・ 交流機会の促進

障がい福祉課

事業概要

障がいのある人の生活実態を市民に伝え、社会の一員としての理解を深め、交流の促進を図るために市民とのふれあいと交流の場をつくる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
啓発	障害者週間に駅、量販店において該当啓発を実施。	障害者週間に駅、量販店において該当啓発を実施。	障害者週間に駅、量販店において該当啓発を実施。
タイムケア事業	ボランティアを入職1.2年目の職員研修と位置づけ、参加を呼び掛けた。	ボランティアを入職1.2年目の職員研修と位置づけ、参加を呼び掛けた。	ボランティアを入職1.2年目の職員研修と位置づけ、参加を呼び掛けた。
評価	B	B	B

保護者連続学習会

発達支援課

事業概要

発達に特性を持つ子どもの行動の背景を知り、関わり方をまなぶ保護者向け講座。

基礎編（4歳児～中学生までの児童の保護者）とフォローアップ編（平成29年度までの「保護者学習会」に参加したことがある保護者）にわけ、各4回の連続講座を実施。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
講座参加人数	実参加人数45人 (のべ142人)	実参加人数28人 (のべ80人)	実参加人数29人 (のべ91人)
評価	A	A	A

基本方針 2 地域福祉を支える人づくり

[ひと]

(3) 地域福祉の担い手、リーダーの育成

①見守り活動等の担い手の育成

市民活動ボランティア センターの設置

政策推進課
(市民活動推進室)

再掲

事業概要

市民の自主的かつ主体的な公益活動への参加を促し、地域の福祉活動団体等を支援することにより協働のまちづくりを推進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	地域活動の担い手づくり (講座4種×5回の実施、ボラン ティアマッチング85件)	「まるーむ」整備	「まるーむ」開館 まちづくり支援員による スキルアップ研修実施
評価	B	B	C

人権尊重のまちづくり懇談会の推進

再掲

人権推進課

事業概要

人権尊重のまちづくり懇談会の推進。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
参加人数	5718人	約5900人 (人権カルタ実施)	6054人
評価	B	B	B

こうか市民共生ネットワーク

再掲

人権推進課

事業概要

こうか市民共生ネットワーク登録団体がつながって実施する事業や活動を支援する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
人権啓発事業助成金 申請数	9件	7件	7件 (新型コロナウイルス感染症感染拡大時期と重なった事業は中止となった。 3件が実施された。)
評価	A	B	B

出前講座(ご近所福祉)

再掲

福祉医療政策課

事業概要

区・自治会、自治振興会等を対象とし、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを目ざし、「みんなで参加のご近所福祉」をとともに考える出前講座を実施。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
開催数	0回	0回	2回 (市内5地域にご近所福祉 コーディネーターを配置)
評価	A	B	B

認知症になっても安心して生活できる 地域づくりのための人材育成

すこやか支援課

事業概要

地域の見守りや支えあいの活動、認知症カフェなどで役割を担ってもらう認知症サポーターを育成する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	養成講座45回 1381人	見守り活動実施	見守り活動実施 認知症登録サポーター制 度開始 (17名)
課題	—	認知症サポーターの計画的な育成の実施まで至っていない。	認知症サポーターの計画的な育成の実施まで至っていない。
評価	A	B	B

自殺対策事業

すこやか支援課

事業概要

地域や職場の中で、自殺のサインにいち早く気づき、適切な対応を行い、相談機関などにつなぐ自殺予防ゲートキーパー養成講座を行い、ゲートキーパーの育成をする。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
ゲートキーパー養成講座開催数	5回 (事業所委、各種団体役員、市役所職員対象)	2回 (146人) フォローアップ研修1回 (33人)	2回 (80人)
評価	A	A	B

基本方針 2 地域福祉を支える人づくり [ひと]

(3) 地域福祉の担い手、リーダーの育成

②市民の健康づくりを支える担い手の育成

甲賀市健康推進連絡協議会への支援 すこやか支援課

事業概要

健康推進員の資質向上を図るため、会議および事業を実施。
健康寿命の延伸にむけて官民一体となった活動展開を目指す。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
研修開催回数 (参加人数)	—	5回 (119人)	2回 (363人)
評価	A	A	A

健康推進員養成講座

すこやか支援課

事業概要

健康づくり活動を推進するためのリーダーとして“健康推進員”を位置づけ、自ら実践し啓発普及、指導を行うに必要な基礎知識の習得を目指す。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
健康推進委員養成講座 受講者数	99人	89人	94人
評価	A	A	A

基本方針 2 地域福祉を支える人づくり [ひと]

(4) 福祉、保健等の専門的な人材の育成・支援

①福祉、保健サービスにおける人材の育成・確保

地域福祉人材確保事業

福祉医療政策課

事業概要

地域住民へ質の高い福祉サービスを提供するため、サービス提供の根幹である福祉人材を安定的に確保・養成する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
就職フェア開催数 来場者数 (うち採用者数)	2回	2回 69人 (13人)	2回 33人 (9人)
評価	B	A	A

新規事業参入の促進と人材育成

障がい福祉課

事業概要

基幹相談支援センターを設置し、新規事業所の支援、人材育成のための研修や困難事例のアセスメント等支援の充実する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
基幹相談支援センターによる新規事業所棟を検討している法人や事業所への支援	支援割合 46.7%	8回 (5事業所)	5回 (2事業所)
基幹相談支援センターによる相談支援専門員研修会	—	7回 (43人)	6回 (35人)
評価	B	C	C

支援サービスにおける人材の育成・確保

障がい福祉課

事業概要

甲賀地域障害者自立支援協議会（甲賀地域障害児・者サービス調整会議）と協働しながら研修会や事例検討を進める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
精神障害者部会	1回（事例検証1回）	5回	6回
発達支援部会	3回	3回	3回
相談支援事業 ネットワーク部会	2回	1回	5回
高次脳機能障害 調整会議	5回	3回	2回
評価	B	C	C

放課後児童クラブ支援事業

子育て政策課

事業概要

利用される児童クラブの児童の環境の変化や指導員に求められるスキルの多様性を確保する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	利用児童の年齢、特性に合う適切な人員配置を行い、保育環境の向上に努めた。	利用児童の年齢、特性に合う適切な人員配置を行い、保育環境の向上に努めた。	利用児童の年齢、特性に合う適切な人員配置を行い、保育環境の向上に努めた。
評価	A	A	C

子育てコンシェルジュ (利用者支援) 事業

子育て政策課

事業概要

子ども・子育てに関わるサービスの情報提供や利用促進を総合的にコーディネートする子育てコンシェルジュを子育て支援センターに配置及び育成。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
各支援センター配置数	2名(信楽1名)	1名	1名
評価	A	A	A

生活支援コーディネーターの育成

長寿福祉課

事業概要

多様な担い手の連携・共働を行う協議体を設置し、地域資源の開発やネットワーク化に取り組む生活支援コーディネーターの育成に取り組む。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
第1層協議体	1名 (社会福祉協議会委託) 会議3回開催	1名 (社会福祉協議会委託) 会議3回開催	1名 (社会福祉協議会委託) 会議2回開催
第2層協議体	5名 (旧町単位)	5名 (旧町単位)	5名 (旧町単位)
評価	A	A	A

保育士確保受入れ充実事業

保育幼稚園課

事業概要

保育園・幼稚園等において保育士等の人材を確保することにより、園児受入れの充実を図り、待機児童対策の推進。研修の充実による市内の保育・教育の質向上。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
保育支援員	公立園5人 私立園7人 (保育支援員およびインターンの合算数)	公立園32人 私立園4人	公立園25人 私立園10人
インターン	—	公立園9人 私立園4人	公立園3人 私立園5人 (保育の質の向上を目的に、保育士対象の研修を7回実施)
評価	A	A	A

基本方針 3 適切な支援へつなげる体制づくり[ネットワーク]

(1) 福祉、健康等に関する情報提供・啓発の充実

① 相談窓口の情報提供の充実

相談窓口の啓発

障がい福祉課

事業概要

市民に対し、広く相談窓口の周知を進める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
障害者虐待防止研修会 参加人数	104人	89人	83人 (初任者研修：23人)
評価	A	B	B

育ちと学びの相談窓口の広報

発達支援課

事業概要

発達支援課で実施している幼児期～青年期の相談窓口の存在を広く市民に広報する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	毎月15日号の市広報紙に相談窓口の案内を掲載	毎月15日号の市広報紙に相談窓口の案内を掲載	毎月1日号の市広報紙に相談窓口の案内を掲載
評価	A	A	A

自殺対策事業 (相談窓口啓発)

すこやか支援課

事業概要

こころの悩みを相談できる窓口について街頭啓発やチラシ等あらゆる手段で情報提供を実施。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	相談窓口のチラシ作成 (施設に配布) 市内中学3年生へ啓発物品の 配布	相談窓口チラシを用いた街頭 啓発・関係機関への配布 3月の広報紙に自殺予防月間の 啓発	相談窓口チラシを用いた街頭 啓発・関係機関への配布 3月の広報紙に自殺予防月間 の啓発
評価	A	A	A

基本方針 3 適切な支援へつなげる体制づくり[ネットワーク]

(1) 福祉、健康等に関する情報提供・啓発の充実

②情報のバリアフリー化の促進

ホームページ管理運営事業

秘書広報課

事業概要

全ての人にとって使いやすいホームページを作成し、
市政情報とあわせて甲賀市の魅力を発信する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	広報紙音訳データホームページに掲載	広報紙・ホームページの他、 フェイスブックを活用した。	アクセシビリティ評価実施
評価	B	B	B

情報のバリアフリー化の促進

障がい福祉課

事業概要

サービスを必要とする人に、サービスの情報がわかりやすく提供されるよう努める。さらに、各相談窓口での情報提供、広報紙の充実に努める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	障害者虐待防止窓口をホームページに掲載 専任手話通訳者2人の配置 派遣事業 手話通訳者88回、 要約筆記者18回	障害者虐待防止窓口をホームページに掲載 専任手話通訳者2人の配置	専任手話通訳者2人の配置 デフメール(専用携帯電話)や 聴覚障がい者用緊急通報端末の活用
評価	B	A	A

広報紙発行事業

秘書広報課

事業概要

行政情報等を掲載した「広報こうか」を紙媒体で月1回発行する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	音訳CD配布 (月2回) ホームページ掲載	音訳CD配布 (月2回) ホームページ掲載	ユニバーサルデザインを意識した 読みやすい広報紙を作成 音訳CD配布 (月2回) ホームページ掲載
評価	B	B	B

基本方針 3 適切な支援へつなげる体制づくり[ネットワーク]

(1) 福祉、健康等に関する情報提供・啓発の充実

③福祉や健康に関わる正しい理解の促進や情報提供の充実

障害者差別解消法施行に伴う

障がい福祉課

啓発事業

事業概要

平成28年4月1日に施行された障害者差別解消法施行に伴い、市民への周知啓発を行うとともに、法律に対応する支援体制づくりを行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	リーフレット配布 (市内事業所) 新規採用職員の研修・ 啓発実施	リーフレット配布 (市内事業所) 新規採用職員の研修・ 啓発実施 2/20差別解消支援地域協議会を開催	リーフレット配布 (市内事業所) 新規採用職員の研修・啓発実施 2/10差別解消支援地域協議会を 開催
評価	B	B	B

子育てポータルサイト

子育て政策課

事業概要

子育てに関する不安や負担感を軽減するため、
甲賀流の子育てに関する情報をわかりやすく周知する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	メールマガジンやラインアプリ等の用いた情報周知を実施	メールマガジンやラインアプリ等の用いた情報周知を実施	メールマガジンやSNS等の用いた情報周知を実施
評価	A	A	B

子育てコンシェルジュ (利用者支援) 事業

再掲

子育て政策課

事業概要

子ども・子育てに関わるサービスの情報提供や利用促進を総合的にコーディネートする子育てコンシェルジュを子育て支援センターに配置及び育成。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
各支援センター配置数	2名(信楽1名)	1名	1名
評価	A	A	A

保護者連続学習会

再掲

発達支援課

事業概要

発達に特性を持つ子どもの行動の背景を知り、関わり方をまなぶ保護者向け講座。

基礎編（4歳児～中学生までの児童の保護者）とフォローアップ編（平成29年度までの「保護者学習会」に参加したことがある保護者）にわけ、各4回の連続講座を実施。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
講座参加人数	実参加人数45人 (のべ142人)	実参加人数28人 (のべ80人)	実参加人数29人 (のべ91人)
評価	A	A	A

一般市民向け講演会

発達支援課

事業概要

発達に特性を持つ人（子ども～成人）やその家族への支援についての支援者や地域社会に向けての啓発研修事業。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
研修会概要 (参加人数)	支援者向け研修会 45人	「職場における発達障がい の気づきと対応について」 企業87人・職員132人	「発達障がい者の雇用・就労支援 と職場での発達障がいの気づきと 課題解決のための支援」 80人
まちづくり講 座参加人数	—	148人	88人
評価	B	A	A

情報提供（介護保険制度関係）

長寿福祉課

事業概要

介護保険制度の円滑な運営を図るため、要介護認定や介護保険料などの介護保険制度に関する市民への情報提供を積極的に行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
出前講座を通じた情報提供	甲賀市介護者の会 甲賀市健康推進員研修	甲賀市介護者の会 甲賀市健康推進委員研修 傾聴ボランティアよりそい 神山寿楽会 名坂区 宇川会館 J A 水口支所 聴覚障害者協会	介護者の会 野田ゆうゆうクラブ 山内ゆうゆうクラブ 18区老人会 池田団地 松尾団地 住友電工プリントサーキット(株)
評価	A	A	A

市民への情報提供・相談支援の充実

長寿福祉課

事業概要

居宅介護支援事業者やサービス事業者等との連携により、利用者が適切なサービスを利用できるよう介護サービスの利用に関する多面的な情報提供に努める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	社会資源のしおりを ケアマネージャーへ配布	社会資源のしおりを ケアマネージャーへ配布	甲賀市の介護・福祉 サービスガイドを作成 窓口にて配布
評価	A	A	A

甲賀市健康推進連絡協議会への支援

再掲

すこやか支援課

事業概要

健康推進員の資質向上を図るため、会議および事業を実施。
健康寿命の延伸にむけて官民一体となった活動展開を目指す。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	研修や事業への支援を実施	協議会の会議、研修会等の支援	協議会の会議、研修会等の支援
評価	A	A	A

健康教育事業

すこやか支援課

事業概要

生活習慣病の予防等健康に関する正しい理解をもってもらうために、健康教室の開催や地域や各団体から依頼があれば出向き説明や指導を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	健康教室の実施 (12回)	健康教室の実施 依頼あった団体への健康教育の実施	健康教室の実施 依頼あった団体への健康教育の実施
評価	D	A	A

健康寿命を延ばそう事業

再掲

すこやか支援課

事業概要

地域でともに支え合い生きがいをもって健康で幸せに暮らしていくために、運動を中心とした健康づくりに取り組むことで健康寿命の延伸を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	モデル事業を実施 (全6地区) ウォーキングコースの 設置 健康体操等の啓発	モデル事業を実施 (全6地区) ウォーキングコースの 周知 健康体操等の啓発	モデル事業を実施 (全6地区) ウォーキングコースの 周知 健康体操等の啓発
評価	B	B	B

企業・職域における健康づくり

すこやか支援課

事業概要

職場で受診できない健診等の情報を企業に提供し、勤務している人の健康づくりを推進。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	協会けんぽ加入者の健診に合わせて大腸がん検診を3日間実施	企業に対し、がん検診の受診について情報提供の実施	企業に対し、がん検診の受診について情報提供の実施
評価	B	A	A

企業・職域における健康づくり (自殺対策)

すこやか支援課

事業概要

企業に対して「ゲートキーパー養成講座」実施の支援。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	出前講座の実施	チラシの配布 フォローアップ研修 (受講企業対象)	チラシの配布 フォローアップ研修 (受講企業対象)
評価	A	A	B

食育推進事業

すこやか支援課

事業概要

幼児健診にて食育の啓発、19日は食育の日の啓発支援（健康推進員活動）、「日本型食生活」の推進。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	幼児健診にて食育の啓発健康推進員実施の19日の食育の日の啓発について活動の支援を実施	幼児健診にて食育の啓発健康推進員実施の19日の食育の日の啓発について活動の支援を実施	幼児健診にて食育の啓発健康推進員実施の19日の食育の日の啓発について活動の支援を実施
評価	B	B	A

基本方針 3 適切な支援へつなげる体制づくり[ネットワーク]

(2) 身近な相談や総合的に対応できる窓口の充実

① 身近な相談窓口の設置

地域市民センターの設置

政策推進課
(市民活動推進室)

再掲

事業概要

地域住民が集い、語り合う身近な憩いの場、自治振興会の活動の拠点として、地域市民センターを運営。また、公民館機能、行政窓口機能を実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	地域に密着した課題解決支援を推進	地域に密着した課題解決支援を推進	地域に密着した課題解決支援を推進
評価	B	B	B

基本方針 3 適切な支援へつなげる体制づくり[ネットワーク]

(2) 身近な相談や総合的に対応できる窓口の充実

②総合相談窓口体制の充実

自立相談支援事業

生活支援課

事業概要

複合的な問題を抱える生活困窮者に対し、生活面や就労面、経済面など状況に応じた包括的な相談による総合相談支援や権利擁護の推進等既存の地域福祉施策との連携を実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
生活相談窓口	主任相談員1名 相談支援員2名 就労コーディネーター1名	主任相談員1名 相談支援員2名 就労コーディネーター1名	主任相談員1名 相談支援員2名 就労コーディネーター1名
相談受付数 (新規相談)	2,413件 (188件)	2,287件 (188件)	2,608件 (183件)
評価	B	B	B

その他自立支援事業

生活支援課

事業概要

社会福祉協議会委託により、法律相談や生活相談、ひきこもり支援を行い、生活困窮者の自立促進するための支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
法律相談 (相談者数) (相談件数)	138名 148件	208名 (一)	215名 (一)
生活相談 (相談者数) (相談件数)	272名 1,463件	310名 1,049件	276名 1,215件
ひきこもり サロン	3回	17回 (29名参加)	29回 (55名参加)
評価	B	B	B

基本方針 3 適切な支援へつなげる体制づくり[ネットワーク]

(2) 身近な相談や総合的に対応できる窓口の充実

③暮らしに関わる相談対応の充実

男女の悩みごとと相談窓口

人権推進課

事業概要

性別による固定的な役割分担意識や差別的な取扱い、ドメスティック・バイオレンス（DV）、男女間の人権の軽視等に起因する市民を取り巻く諸問題に対し、甲賀市男女の悩みごとと相談窓口を設置し、相談を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
相談件数 (電話相談を含む)	247件	208件	109件
評価	B	B	B

人権に関わる相談の実施

人権推進課

事業概要

人権推進課において、人権全般に関わる相談を行い、必要があれば関係課、関係機関に引き継ぎを行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
他部署・他機関への紹介件数 (1相談につき複数の機関を 紹介する場合を含む)	131件	279件	60件
評価	B	B	B

相談窓口の啓発

再掲

障がい福祉課

事業概要

市民に対し、広く相談窓口の周知を進める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
障害者虐待防止研修会 参加人数	104人	89人	83人 (初任者研修：23人)
評価	A	B	B

子育て世代包括支援センター

子育て政策課

事業概要

甲賀子育て支援センターの相談業務を充実させ、
妊娠期から出産、子育て期までの切れ目のない支援を目ざす。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	モデル的に保健センターとの調整会議を実施	保健センターとの調整会議を実施	保健センターとの調整会議を実施
評価	B	B	A

ひとり親支援事業

子育て政策課

事業概要

ひとり親の生活向上のため、就労支援や各種相談窓口の開設。
就労支援のための自立支援給付等の補助。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	就業支援専門員配置	就業支援専門員配置	母子・父子自立支援員、 就業支援専門員配置
評価	A	A	A

児童相談窓口

子育て政策課

事業概要

家庭児童相談室において、妊産婦、18歳未満の子どもとその家族を対象に、相談援助を行う。また、DV被害者とその子どもに対しても相談援助を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	相談及び通告件数が前年より増加 DV被害者およびその児童に対して、母子生活支援施設に入所措置を行った	相談及び通告件数が前年より増加 DV被害者およびその児童に対して、母子生活支援施設に入所措置を行った	連携等により相談・通告件数が増加し、早期の発見から支援につながっている 母子生活支援施設に入所措置を行ったケースに対して自立に向けた継続支援を行った
評価	A	A	A

のびのび相談

発達支援課

事業概要

発達に課題のある幼児について、保護者の子育てや園での支援について助言を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
発達相談	221人	260人	218回
評価	A	A	A

教育相談事業

発達支援課

事業概要

学習面や行動面、適応面等に課題のある児童、生徒について、本人や保護者、学校の相談に応じる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
小学生 (相談回数)	300人 (975回)	319人 (1,131回)	320人 (1,518回)
中学生 (相談回数)	110人 (489回)	137人 (673回)	146人 (632回)
評価	A	A	A

青年期相談

発達支援課

事業概要

発達障がい等により、生きづらさを感じている方について、自己理解を進め、本人なりの自立をめざす。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
高校生 (相談回数)	47人 (309回)	33人 (356回)	51人 (345回)
大学・専門学校生 (相談回数)	4人 (22回)	3人 (16回)	5人 (33回)
中卒以上在宅 (相談回数)	23人 (203回)	26人 (229回)	25人 (354回)
就労 (一般・福祉的就労) (相談回数)	18人 (105回)	14人 (91回)	23人 (155回)
評価	A	A	A

総合相談支援事業

すこやか支援課

事業概要

高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう、ワンストップの相談窓口を展開する。
また、身近なところで相談できる相談窓口の拡大を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
新規相談件数	1,501件	1,306件	1,526件
継続相談件数	911件	1,007件	789件
評価	A	A	A

ゲートキーパー養成講座

再掲

すこやか支援課

事業概要

健康や生活に対して、悩みを抱える人が身近なところで相談でき、健康に関する助言を行い、場合に応じ早期に必要な相談窓口へつなげる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
自殺予防ゲートキーパー養成講座 (人数)	相談窓口のチラシ作成 配布およびホームページでの周知	2回 146人 フォローアップ研修 1回開催 (33人)	2回 80人
評価	A	A	B

健康相談事業

すこやか支援課

事業概要

健康に関する相談が出来る場所を提供することで、
身体やこころの健康の保持につなげる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
健康相談 (人数)	43回 (99人)	62回 (107人)	60回 (64人)
評価	A	B	B

乳幼児相談事業

すこやか支援課

事業概要

乳幼児及び保護者が、不安や悩みを相談することにより、安心して育児ができるよう対応する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
リトルママサロン (各包括月/1回) 参加人数	—	1,200人	1,504人
評価	C	A	A

基本方針 3 適切な支援へつなげる体制づくり[ネットワーク]

(3) 関係機関等との連携強化による支援体制づくり

① 関係機関等との連携強化の推進

医療機関との連携

障がい福祉課

事業概要

障がいがあっても近くで医療を受けることができるよう地域の医療機関と専門機関との連携を強化する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果		県難病患者の住みよいまちづくりモデル事業実施検討会に委員として参加 難病患者支援ガイドを作成	相談があれば受診先の情報提供するなど、適切な医療が受給できるよう医療機関と連携を行った
評価	B	A	A

横の連携と支援をつなぐ仕組みの充実

障がい福祉課

事業概要

支援が必要な子どもを中心に、保護者、関係各課、支援機関、園、学校の連携の充実に努める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
研修会・会議	事業所等従事者向けの障害者虐待防止研修会 (104名)	甲賀市発達支援システム担当者会議 (年2回) 甲賀市子ども家庭支援ネットワーク協議会代表者会議 (年1回) 実務者会議参加 (年2回) 甲賀市生活困窮者自立支援庁内関係者会議参加 (年1回)	甲賀市発達支援システム担当者会議 (年2回) 甲賀市子ども家庭支援ネットワーク協議会代表者会議 (年1回) 実務者会議参加 (年2回) 甲賀市生活困窮者自立支援庁内関係者会議参加 (年1回)
評価	B	B	B

総合的な地域ケアの推進

再掲

障がい福祉課

事業概要

市、相談支援事業所、サービス事業所、関係機関等が連携し、継続性、一貫性のある地域ケアの展開に取り組む。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	継続性、一貫性のある地域ケアの展開に取り組んだ	継続性、一貫性のある地域ケアの展開に取り組んだ	継続性、一貫性のある地域ケアの展開に取り組んだ
評価	B	B	B

子ども家庭支援ネットワーク協議会事業

子育て政策課

事業概要

要保護児童や要支援児童、特定妊婦の適切な保護を図るために必要な情報交換。
要保護児童等に対する支援の協議。児童虐待防止にかかる啓発。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
代表者会議	1回	1回	1回
実務者会議	3回	3回	36回
ケース会議	30回	62回	37回
評価	A	A	A

子ども・子育て応援団ネットワーク形成事業

子育て政策課

事業概要

市内の子育てに関係する団体等が、子育てをテーマに、連携、繋がりを持つことができるようにする。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	市内の子育て支援団体が連携し、子育てフェスタ、子育て講演会の2事業が実施された 子育て関係者によるネットワーク会議が実施された	市内の子育て支援団体が連携し、子育てフェスタが実施された 子育て関係者によるネットワーク会議が実施された	市内の子育て支援団体が連携し、子育てフェスタが実施された 子育て関係者によるネットワーク会議が実施された
評価	B	B	C

発達支援システム推進会議

発達支援課

事業概要

乳幼児期・学齢期・青年期のライフステージを通じ、一人一人の能力、適性、発達段階及び社会環境に応じた支援を適切につなぐ仕組みを構築する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
各課連携担当者会議	2回	2回	2回
評価	A	A	A

地域ケア会議

すこやか支援課

事業概要

個別を中心とした小地域ケア会議等により、個別事例の検討を通じて、地域課題を明らかにし、課題に対する対策を検討する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
課題解決型小地域ケア会議	49回	66回	66回
自立支援型小地域ケア会議	—	40回	40回
評価	A	A	A

企業・職域における健康づくり

再掲

すこやか支援課

事業概要

職場で受診できない健診等の情報を企業に提供し、勤務している人の健康づくりを推進。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	協会けんぽ加入者の健診に合わせて大腸がん検診を3日間実施	企業に対し、がん検診の受診について情報提供の実施	企業に対し、がん検診の受診について情報提供の実施
評価	B	A	A

企業・職域における健康づくり (自殺対策)

再掲

すこやか支援課

事業概要

職場で健診（検診）が受けられない人へ市の健診（検診）の
情報提供と受診勧奨。
企業に対して「ゲートキーパー養成講座」実施の支援。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	出前講座の実施	チラシの配布 フォローアップ研修 (受講企業対象)	チラシの配布 フォローアップ研修 (受講企業対象)
評価	A	A	B

不登校対応の充実

学校教育課

事業概要

学校不適応児童生徒対応、スクールソーシャルワーカー、
スクールカウンセラー、スクーリングケアサポーター、
訪問相談員等による教室復帰・学校復帰に向けての働きかけを行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	ケース会議を実施し、登校意欲を高めるよう支援を行った	ケース会議を実施し、登校意欲を高めるよう支援を行った	小学校不適応生徒37人中 9名が登校 中学校不適応生徒132人中 34名が登校
課題	保護者とのかかわりから、 復帰に至らないケース有	児童生徒本院の特性や発達課題 により、復帰に至らないケース 有	—
評価	B	A	A

基本方針 3 適切な支援へつなげる体制づくり[ネットワーク]

(3) 関係機関等との連携強化による支援体制づくり

②生活困窮者等の自立支援

一時生活支援事業

生活支援課

事業概要

住居をもたない生活困窮者に対し、緊急一時的な宿泊場所及び食料の提供、併せて相談支援員が訪問し、就労支援を実施することにより生活再建を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
利用者	3名	5名	1名
評価	B	B	B

家計相談支援事業

生活支援課

事業概要

生活支援課に設置している「生活支援窓口」で受けた相談や課題のうち、経済的な問題について、家計の視点から相談支援を実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
助言・指導	16名	28名	16名
評価	B	B	B

学習支援事業

生活支援課

事業概要

家庭の生活困窮に起因し、子どもに不足している「生きる力」や「規則正しい生活習慣」を身につけること及び「居場所づくり」を行い「負の連鎖」による将来の生活困窮の解消を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
登録者	85名	85名	76名
延べ開催数	180回	201回	207回
延べ参加人数	2,325名	2,566名	2,350名
評価	B	C	C

就労準備支援事業

生活支援課

事業概要

就労が定着せずに離職を繰り返す人や就労経験の少ない人に対し、一般就労に向けた就労準備支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
利用者	6名	10名	10名
評価	B	B	B

住居確保給付金事業

生活支援課

事業概要

離職等により経済的に困窮し、住居を失うおそれのある人に対し、安定した住居の確保と就労自立への支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
住居確保給付金	8世帯	4世帯	1世帯
評価	B	B	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(1) 誰もが住みやすいまちづくりの実現

①ユニバーサルデザインに基づくまちづくり

甲賀市ユニバーサルデザイン推進協議会

福祉医療政策課

事業概要

ユニバーサルデザインの理念にもとづくまちづくりを推進するため、ユニバーサルデザインの推進計画等の作成、普及及び啓発活動等について協議する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	おもいやり駐車区画調査実施	公共施設の新設・改修時に思いやり駐車場設置を働きかけを行った。	公共施設・私設の量販店等の新設・改修時に思いやり駐車場設置を働きかけを行った。
課題	協議会を開催できなかった	—	—
評価	C	C	C

公園施設長寿命化対策事業

建設管理課

事業概要

市内の都市公園の長寿命化計画に基づき、公園施設の老朽化などに起因する事故を未然に防ぐなど、安全・安心でやすらぎのある公園に改築・更新を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
実施工事	水口スポーツの森、古城が丘公園内の防護柵改修工事、ひのきが丘公園防球ネット整備工事、青土ダムエコーバレイバンガロー広場トイレ改修工事	野洲川河川公園テニスコート改修工事、甲賀中央公園野球場緩衝フェンス設置工事、甲賀市民スタジアム防球ネット改修工事	水口スポーツの森テニスコート改修工事、水口スポーツの森野球場防球ネット改修工事
評価	A	A	A

民間施設のバリアフリー化促進

住宅建築課

事業概要

ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、すべての人が円滑に利用できるよう配慮された生活環境の整備を指導する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
指導件数	—	—	8件
適合証の交付	1件	2件	0件
評価	B	B	B

小中学校大規模改造事業・ トイレ改修工事

教育総務課

事業概要

教育環境の改善と、学校教育の円滑な実施のため、施設老朽化に対する大規模改造事業を実施。また、改造に伴いバリアフリー化を進める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
大規模改造(1期)工事	段差解消 (水口小、希望ヶ丘小、 甲賀中)	段差解消 (甲南第一小学校)	柏木小学校のバリアフ リー化
トイレ改修工事	廊下との段差解消 和式トイレを洋式トイ レに改修	綾野、甲南中部、甲南第 二、甲南第三小学校 甲南第三小学校に多目的 トイレを設置	水口小学校、希望ヶ丘 小学校、甲賀中学校
評価	A	B	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(1) 誰もが住みやすいまちづくりの実現

② 高齢者や障がいのある人等の社会参加の促進

自治振興会によるまちづくり

政策推進課

(市民活動推進室)

再掲

事業概要

市民と行政の協働の考え方をふまえ、住民福祉の推進につながる「小規模多機能自治」を推進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	市民参画・協働推進検討委員会 4回	市民参画・協働推進検討委員会 6回	「みんなで甲賀市の未来を考えよう！市民協働研修会」を開催。
評価	B	B	C

市民協働事業提案制度

再掲

政策推進課 (市民活動推進室)

事業概要

市民団体等の新しい発想や経験、専門性と行政のノウハウを
ともに出し合い、柔軟性のある事業を実施するため、
地域課題の効果的な解決を目指す。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
実施事業数	4件 (うち1件は地域の空き家を多 世代交流や地域コミュニティ の拠点として活用。)	5件 (うち1件は地域の空き家を多 世代交流や地域コミュニティ の拠点として活用。)	課題解決事業3件実施 (紫香楽宮「都あかり」、 東海道浪漫歩行、地域博物 館プロジェクト)
評価	A	A	B

関係機関との協力連携・ 継続的な就労支援実

障がい福祉課

事業概要

労働、福祉、教育、医療分野との協力・連携を行い、障がいのある方一人ひとりの状況を確認し、支援機関が共通の目的と方針を持って支援できる体制を構築する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
個別支援・定着支援等	—	9593件	820件
評価	—	B	B

専門的な就労訓練が行える事業所の確保

障がい福祉課

事業概要

障がいのある人の就労に対するニーズを考慮し、対象者の情報収集や多様な技能が習得できる職業訓練機会の確保に努める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
トライワーク (実習)	事業者選定を実施	62件	48件
相談	就労サポーター 利用者805人	2144件	780件
評価	B	B	A

地域活動支援センターの充実

障がい福祉課

事業概要

障がいのある人の日常生活における生きがいや心のやすらぎ、ゆとりの創出のため、地域活動支援センターの確保と充実を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
事業所数 (利用人数)	2事業所 105件	2事業所 90件	2事業所 8人
評価	A	A	A

高齢者介護予防ボランティア・ポイント制度

すこやか支援課

事業概要

高齢者介護予防ボランティア・ポイント制度により、高齢者自らの介護予防を促進するとともに、元気な高齢者が暮らす地域社会を作る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
制度活用者 (うち新規活用者)	99人 (19人)	74人 (14人)	69人 (7人)
評価	A	A	A

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(1) 誰もが住みやすいまちづくりの実現

③多文化共生の推進

多文化共生推進計画

政策推進課
(市民活動推進室)

再掲

事業概要

「お互いの違いや良さを認め合い、ともに新しい市民文化を創造するまちづくり」の実現に向け事業を実施。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	日本語の学習支援 災害時の多言語支援体制構築 啓発紙発行 等	国際交流フェスタ おしゃべりカフェ 等	海外の姉妹都市等との市民 交流事業や中学生交流事業 等
評価	B	B	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(1) 誰もが住みやすいまちづくりの実現

④ 成年後見制度の利用促進

成年後見制度利用支援事業

福祉医療政策課

事業概要

判断能力が不十分で日常生活に支障のある高齢者や知的障がい者及び精神障がい者の方が、成年後見制度を利用できるようサポートする。制度の費用負担が困難な場合には、費用の一部を助成する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
相談件数	2,504件	2,188件	2,066件
法人後見受任事業 受任件数	1件	1件	3件
評価	A	B	A

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(1) 誰もが住みやすいまちづくりの実現

⑤子育てをする人への支援の充実

女性の活躍推進事業

商工労政課

事業概要

女性の就労・キャリアアップ・起業・ワークライフバランスの促進を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
市内のイクボス宣言企業数			69社
マザーズ就労相談	20人	19人	18人
女性のためのお仕事フェア	100人	71人	68人
評価	A	A	B

三世代同居（近居）等リフォーム助成事業

商工労政課

事業概要

三世代同居世帯への補助金を追加し、転出を抑制し転入を促進することで少子化対策につなげる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
住宅リフォーム事業 (件数)	33件	28件	28件
市外転入	1件	1件	2件
評価	A	A	A

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(1) 誰もが住みやすいまちづくりの実現

⑥ 差別解消の推進

人権教育連続セミナー

人権推進課

再掲

事業概要 福祉的な土壌をつくるために、正しい知識を知るための研修を実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	8月19日「さとにきたらええやん」講師：荘保共子さん 9月30日「健常者を考える」講師：松永真純さん	10月21日「住みなれた地域で安心して暮らし続けるために」講師：花戸貴司さん 12月22日「魂の書家金澤翔子～天使がこの世に降り立てば～」講師金澤泰子さん、翔子さん	障がいや福祉についての人権講座等を開催 (543人参加)
評価	A	A	A

障害者差別解消法施行に伴う啓発事業

再掲

障がい福祉課

事業概要

平成28年4月1日に施行された障害者差別解消法施行に伴い、市民への周知啓発を行うとともに、法律に対応する支援体制づくりを行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	リーフレット配布 (市内事業所) 新規採用職員の研修・啓発実施	リーフレット配布 (市内事業所) 新規採用職員の研修・ 啓発実施 2/20差別解消支援地域協議会を開催	リーフレット配布 (市内事業所) 新規採用職員の研修・啓発実施 2/10差別解消支援地域協議会 を開催
評価	B	B	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(2) 健康寿命の延伸を支える環境づくり

①健康教育等の推進

高齢者向け教室

人権推進課

再掲

事業概要

創作、健康づくり、日常生活訓練等を行うことにより、
高齢者の自立を促進し、仲間づくり、生きがいづくりにつなげる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
各地域総合センター	いきいき百歳体操や、高齢者向けの各種教室を実施し、仲間づくり、生きがいづくりにつなげた。	いきいき百歳体操や、高齢者向けの各種教室を実施し、仲間づくり、生きがいづくりにつなげた。	いきいき百歳体操や、高齢者向けの各種教室を実施し、仲間づくり、生きがいづくりにつなげた。
評価	B	B	B

健康教育

すこやか支援課

事業概要

健康づくりについての情報提供、健康教室の実施、運動に関する意識調査の実施・分析。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
健康教室	12回	各包括支援センターと共同開催	運動を中心押した教室を実施
評価	B	B	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(2) 健康寿命の延伸を支える環境づくり

② 健診（検診）受診の促進

がん検診・基本健診推進

すこやか支援課

事業概要

早期発見・早期治療のつなげるために、がん検診・基本健診の受診勧奨を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	20歳～69歳の女性、40～69歳の男性にがん検診の受診勧奨個別通知を行った	がん検診・基本検診の受診勧奨を行った	がん検診・基本検診の受診勧奨を行った
評価	B	A	A

歯科保健事業

すこやか支援課

事業概要

市民が生涯にわたり健康な歯で生活がおくれるよう、自分の歯に関心を持ち自分の歯の健康管理が行えることを目指す。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	妊娠期、1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月健診で歯科健診実施 5歳で保育園でう蝕予防の教室と 集団フッ化物洗口を実施	歯周疾患の発症や悪化予防のため、 歯科保健指導を実施 離乳食教室、10か月児健診には 歯科衛生士が介入し、幼児健診には 歯科医師の診察を導入	歯周疾患の発症や悪化予防のため、 歯科保健指導を実施 離乳食教室、10か月児健診には 歯科衛生士が介入し、幼児健診には 歯科医師の診察を導入
評価	B	A	A

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(2) 健康寿命の延伸を支える環境づくり

③医療、保健体制の充実

保健医療計画

福祉医療政策課
(地域医療推進室)

事業概要

すべての市民が住み慣れた身近な地域で必要な医療が安心して受けられる体制を構築する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	甲賀市医療政策ビジョンを策定	医療体制については、関係機関と継続協議を実施	地域医療審議会を設置
課題	調整に時間を要し、完了まではいかなかった	医療政策課ビジョンは再考・延期となった	
評価	D	D	C

保健師地区担当

すこやか支援課

事業概要

住民、世帯及び地域全体の健康課題を把握し、地域特性に応じた健康なまちづくりを推進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	地域全体の健康課題を把握し、市民や健康推進員、その他関係機関、各種会議において状況を説明、報告し健康なまちづくり推進を目指し取組を実施	地域の健康課題を把握し、課題に応じて地域の住民と共に健康づくり及び介護予防の取組を実施	地域の健康課題を把握し、課題に応じて地域の住民と共に健康づくり及び介護予防の取組を実施
評価	B	B	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(2) 健康寿命の延伸を支える環境づくり

④運動による健康寿命の延伸

運動を中心とした健康寿命を 延ばそう事業

すこやか支援課

事業概要

運動に無関心な市民へも目に見える活動を行うことで市民の意識に運動の大切さを根付かせる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	軽度認知デイケア事業2か所 (長寿福祉課) 研修会の実施(すこやか支援課)	介護予防教室 185回 100歳体操の開催(支援) 参加者2,266人	介護予防教室 139回 100歳体操の開催(支援) 参加者2,188人
評価	B	A	B

介護予防事業

すこやか支援課

事業概要

できる限り在宅で自立した日常生活を継続できるように、介護予防の概念を広く普及するとともに地域における介護予防活動の育成・支援を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
介護予防教室 開催件数 参加人数	—	185回 4,131人	139回 3,287人
ボランティアポイント 制度	—	74人	69人
100歳体操 実施団体数 参加者数 支援回数	107団体	115団体 2,266人 148回	116団体 2,188人 118回
評価	A	A	A

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(2) 健康寿命の延伸を支える環境づくり

⑤ 高齢者の就労支援

就労機会の提供

商工労政課

事業概要

定年後の就労支援の核としてシルバー人材センターを位置づけ、就業機会の拡大に努める。また、地域のニーズに対応したコミュニティビジネスやNPO等の起業及び、多様な就労の場づくりを支援する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	シルバー人材センターの活動を支援	シルバー人材センターの活動を支援	シルバー人材センターの活動を支援
評価	B	A	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(3) 地域の防災、防犯活動の推進

①地域の防犯活動の推進

防犯のろし旗作戦

生活環境課

事業概要

市民が主体的に行動できる仕組みを構築して市民の防犯意識を向上させ、犯罪の抑止を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	特殊詐欺に関する犯罪警戒情報及び犯罪警戒警報を1度発令	特殊詐欺に関する犯罪警戒情報及び犯罪警戒警報を4度発令	特殊詐欺に関する犯罪警戒情報及び犯罪警戒警報を11回発令
評価	A	A	A

地域安全対策事業

生活環境課

事業概要

地域の安全活動を行う市民、事業者、及び県、市が協力して、警察の行う犯罪予防に協力し、安全で安心できる住みよい地域社会を実現するための取り組みを行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
市民向け啓発活動	12回	6回	26回
評価	A	A	A

地域との連携による教育支援活動 (スクールガード)

学校教育課

事業概要

地域住民が協力しながら子ども達の見守りを行い、
地域防犯体制の強化につなげる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	スクールガードへの登録依頼、 登下校の見守りを実施 7月にスクールガードによる研 修会を実施	スクールガードへの登録依頼、登 下校の見守りを実施 7月にスクールガードによる研修会 を実施	スクールガードへの登録依頼、 登下校の見守りを実施 7月にスクールガードによる 研修会を実施
評価	B	A	A

セーフコミュニティ推進事業 (子どもの安全対策委員会)

教育総務課

事業概要

自転車安全教室や交通安全マップ作りを実施し、事故やケガを防ぎ、安心・安全なまち実現のための取り組みを推進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	水口小学校、甲南中部小学校の6年生希望者を対象に自転車安全教室を開催。	水口小学校、甲南中部小学校の6年生希望者を対象に自転車安全教室を開催。	—
課題	—	交通安全マップ未作成。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、自転車安全教室、交通安全マップ未実施。
評価	B	B	D

青少年育成事業

社会教育スポーツ課

事業概要

非行防止対策のための啓発、巡回パトロールなど、青少年の健全な育成に努める。また、薬物防止の啓発や無職青年への社会復帰などの支援の実施。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
薬物乱用防止教室	市内小学校18校 高校1校	市内小学校17校 適応指導教室1箇所	市内小学校17校
誘拐防止教室	5箇所	3箇所	2箇所
評価	B	A	A

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(3) 地域の防災、防犯活動の推進

②災害に強いまちづくりの推進

自主防災組織の育成

危機管理課

事業概要

防災出前講座を開催し、組織設置とその活動の支援促進を図る。
自主防災組織の設置を促進するとともに、地域防災リーダーとして防災士の育成に取り組む。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
防災講座	24回	24回	27回
防災士連絡会 新規加入者数	13人	46人	17人
評価	B	B	B

避難行動要支援者支援事業 (名簿作成業務)

福祉医療政策課

事業概要

避難行動要支援者の避難支援等を実施するための基礎となる名簿を「避難行動要支援者名簿」として作成。
名簿情報の提供に同意された方を「避難行動要支援者同意者名簿」として平常からの避難支援に活用する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	避難行動要支援者同意者名簿への同意率を1%増加	出前講座11回 個別計画 着手48地域 完成19地域	出前講座13回 個別計画説明会 15回 個別計画完成41地域
課題	登録の目標値に及ばなかった		
評価	B	B	A

避難行動要支援者支援事業

障がい福祉課

事業概要

福祉医療政策課と連携し、避難行動要支援者（身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級）の方に制度利用の案内通知の発送を行い、制度の周知と名簿登録の推進を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	手帳交付時において説明と同時に申請書類一式を手渡し、制度の周知と同意者名簿登録の推進を実施	手帳交付時において説明と同時に申請書類一式を手渡し、制度の周知と同意者名簿登録の推進を実施 手帳所持者に対し、個別通知を送付（福祉医療政策課）	手帳交付時において説明と同時に申請書類一式を手渡し、制度の周知と同意者名簿登録の推進を実施 手帳所持者に対し、個別通知を送付（福祉医療政策課）
評価	A	A	A

避難行動要支援者支援事業

長寿福祉課

事業概要

福祉医療政策課と連携し、避難行動要支援者（要介護3～5）の方に介護認定通知等と併せて制度利用の案内通知の発送を行い、制度の周知と名簿登録の推進を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	新規に要介護3以上の認定が出された方に対し、認定結果通知書発送時に、避難行動要支援者名簿登録の案内通知を送付	新規に要介護3以上の認定が出された方に対し、認定結果通知書発送時に、避難行動要支援者名簿登録の案内通知を送付	新規に要介護3以上の認定が出された方に対し、認定結果通知書発送時に、避難行動要支援者名簿登録の案内通知を送付
評価	A	A	A

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(4) きめ細やかなサービスの提供と質の確保

①移動支援の充実

低床バスやリフト付きバスの 切り替えの促進

公共交通推進課

事業概要

市内公共交通の充実を図り、誰もが移動しやすい環境づくりを目ざす。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	低床バス1台導入	低床バス1台導入 近江土山駅改築	低床バス1台導入
評価	B	B	B

コミュニティバスの利用促進

公共交通推進課

事業概要

今後ますます進展する高齢化社会への対応や交通弱者が必要とする医療受診や通勤通学などのニーズに対応し、利用を促進する事業を実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	無料乗車券交付 路線再編実施	無料乗車券交付 路線再編実施	無料乗車券交付対象を75 歳まで拡充 路線再編実施
評価	B	B	B

自治振興会によるまちづくり

再掲

政策推進課 (市民活動推進室)

事業概要

市民と行政の協働の考え方をふまえ、住民福祉の推進につながる「小規模多機能自治」を推進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	市民参画・協働推進検討委員会 4回	市民参画・協働推進検討委員会 6回	「みんなで甲賀市の未来を考えよう！市民協働研修会」を開催。
評価	B	B	C

外出のための支援の充実

障がい福祉課

事業概要

障がいのある人のニーズを踏まえ、移動支援事業やサービス提供事業所の体制の充実、各種制度の周知に努める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
移動支援事業 利用者数 (利用時間)	39人 (1963時間)	41人 (1579時間)	50人 (1436時間)
利用福祉車両運賃助成	803人	832人	769人
自動車燃料費補助	56人	49人	46人
評価	B	B	B

介護認定者福祉車両運賃助成事業

長寿福祉課

事業概要

在宅の介護認定者の方の外出支援として、タクシー・コミュニティバス・信楽高原鐵道を利用できる助成券を交付し、運賃の負担を助成する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
利用者数	520人	515人	542人
評価	B	B	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(4) きめ細やかなサービスの提供と質の確保

②福祉サービスの充実

意思疎通支援の充実

障がい福祉課

事業概要

障がいのある人が安心して暮らせるよう情報保障に努める。社会参加が促進されるよう、円滑な意思疎通が図れる体制を整備する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
専任手話通訳者の配置	2名	2名	2名
派遣事業	手話通訳者88回 要約筆記者18回	手話通訳者のべ77回 要約筆記者のべ10回	手話通訳のべ40回 要約筆記のべ8回
評価	A	A	A

自立支援給付等によるサービス提供の充実

障がい福祉課

事業概要

甲賀地域障害者自立支援協議会（甲賀地域障害児・者サービス調整会議）と協働しながら研修会や事例検討を進める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
精神障害者部会	1回（事例検証1回）	5回	6回
発達支援部会	3回	3回	3回
相談支援事業 ネットワーク部会	2回	1回	5回
高次脳機能障害 調整会議	5回	3回	2回
評価	B	B	B

在宅寝たきり高齢者等介護激励金支給事業

長寿福祉課

事業概要

在宅の寝たきり高齢者を常時介護する者に対し、激励金を支給し、寝たきり高齢者の福祉向上につなげる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
対象者数	428名	319名	310名
評価	A	A	A

介護用品購入費助成事業

長寿福祉課

事業概要

在宅寝たきり要介護者等に対し、紙おむつ等の介護用品の代金について助成し、在宅高齢者等の衛生の向上及び介護者の経済的負担の軽減を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
対象者数	1144人	1160人	1225人
評価	A	A	A

緊急通報システム事業

長寿福祉課

事業概要

市内に居住する在宅ひとり暮らし高齢者等の急病、事故等の緊急事態に対処し、高齢者等の日常生活上の安全確保と不安を解消する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
利用者数	103人	136人	107人
通報出勤件数	24件	14件	11件
評価	B	B	B

低所得者への配慮

長寿福祉課

事業概要

介護保険法に基づく保険料段階の設定には低所得者への配慮を行い、引き続き多段階制を実施する。また、利用者負担軽減制度などに関する情報提供に努める。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	多段階制の実施継続	多段階制の実施継続	多段階制の実施継続 保険料軽減措置を実施
評価	A	A	B

高齢者障害者安心生活支援事業

長寿福祉課

事業概要

在宅の高齢者、障害者等に簡易な日常生活上の援助を提供することにより、高齢者及び障害者等の安心安全な生活を守る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
登録人数	46人	52人	51人
評価	B	B	B

基本方針 4 健康で安心な生活ができる暮らしづくり[くらし]

(4) きめ細やかなサービスの提供と質の確保

③子育て世代への支援の充実

ひとり親支援事業

子育て政策課

再掲

事業概要

ひとり親の生活向上のため、就労支援や各種相談窓口の開設。
就労支援のための自立支援給付等の補助。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	就業支援専門員配置	就業支援専門員配置	母子・父子自立支援員、 就業支援専門員配置
評価	A	A	A

育児支援家庭訪問事業

子育て政策課

事業概要

養育支援が特に必要な家庭に対して、養育に関する指導、助言や育児の支援を行い、子育ての不安や負担、ストレスの軽減を図り、虐待防止につなげる。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	支援の必要な家庭を育児支援家庭訪問員が定期的に訪問し、育児支援等を実施 家庭訪問時における虐待なし	支援の必要な家庭を育児支援家庭訪問員が定期的に訪問し、育児支援等を実施	支援の必要な家庭を育児支援家庭訪問員が定期的に訪問し、育児支援等を実施
評価	A	B	B

所在不明児童把握事業

子育て政策課

事業概要

所在不明児童について、保護者からのネグレクトの可能性を疑い、当該児童の所在確認や状況把握等の対応をする。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	乳幼児健診が未受診で、電話や家庭訪問等で連絡が取れない児童について、関係部署の協力も得ながら、すべての児童において居所の確認を行った	乳幼児健診が未受診で、電話や家庭訪問等で連絡が取れない児童について、関係部署の協力も得ながら、すべての児童において居所の確認を行った	乳幼児健診が未受診で、電話や家庭訪問等で連絡が取れない児童未就園児・不就学児について、関係部署・機関の協力も得て、すべての児童において居所の確認を行った
評価	A	A	A

ファミリーサポートセンター事業

子育て政策課

事業概要

子育て世代の保護者が仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境整備と、地域における子育て支援を図る。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
会員数	306人	325人	322人
利用数	621件	431件	571件
評価	A	B	C

子育て包括支援事業

すこやか支援課

事業概要

ハイリスクの児および家族に、子育て期から必要に応じて生涯にわたる個別の支援と関係機関とのコーディネートを実施する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	プラン作成92件	医療機関や子育て支援センター、家庭児童相談室、保幼園、療育機関等と連携調整	医療機関や子育て支援センター、家庭児童相談室、保幼園、療育機関等と連携調整
評価	C	B	A

第3子以降学校教育費支援事業

学校教育課

事業概要

多子世帯の教育に係る負担の軽減を図り、子育て世帯の移住定住を促進する。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
成果	18歳未満の子を3人以上養育している保護者に対し、給付を実施	3人目以降の就学児童に発生する経費を補助にて、保護者にかかる負担を軽減できた	3人目以降の就学児童に発生する経費を補助にて、保護者にかかる負担を軽減できた
課題	—	人口減少0の数値目標は達成できなかった	—
評価	B	B	A

甲賀市要保護及び準要保護児童生徒就学援助

学校教育課

事業概要

経済的理由によって就学困難と認められる児童または生徒の保護者に対し、必要な援助を行う。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
対象児童数	要保護児童生徒（29名） 準要保護児童生徒（754名）	要保護児童生徒（19名） 準要保護児童生徒（773名）	要保護児童生徒（19名） 準要保護児童生徒（770名）
評価	B	A	A

保育士確保受入れ充実事業

保育幼稚園課

再掲

事業概要

保育園・幼稚園等において保育士等の人材を確保することにより、園児受入れの充実を図り、待機児童対策の推進。研修の充実による市内の保育・教育の質向上。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
保育支援員	公立園5人 私立園7人 (保育支援員およびインターンの合算数)	公立園32人 私立園4人	公立園25人 私立園10人
インターン	—	公立園9人 私立園4人	公立園3人 私立園5人 (保育の質の向上を目的に、 保育士対象の研修を7回実施)
評価	A	A	A

第2子保育料無償化事業

保育幼稚園課

事業概要

国の保育料減免制度を拡充し、低所得の多子世帯における第2子保育料を半額から無料にします。

	H29年度評価	H30年度評価	R01年度評価
第2子無料化事業	公立園689名 私立園301名	公立園809名 私立園386名	公立園622人 私立園33人
評価	A	A	A